

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年生		学期及び曜時限	後期 金 6・7	教室名	803
担 当 教 員	鈴鹿 久彰	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>人体の正常構造を学ぶ上で基本となる解剖学用語について説明し、部位ごとに説明します。 成績は、最終試験(60%)、複数回の小テスト(20%)、スケッチ等のレポート課題(20%)の合計です。 前期の後半の授業です。欠席は1/3未満(=4回まで)。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>期末試験：60% 小テスト：20% レポート：20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>・標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 医学書院 副教材:適宜配布するプリント類、骨標本</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>授業のはじめに前回の講義内容に関する復習テストを行うので、理解度テストをベースに、配布資料・テキストの対応する箇所を通読して知識を定着させるようにしてください。また、授業で扱った骨指標・関節・筋については自分で体を動かしながら、構造と機能の対応を理解するようにしてください。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>人体の解剖学(正常な構造と機能)は、作業療法を学ぶ上で、最も重要な基礎となる部分です。取り扱う内容は多いですが、より実践的な科目に活用ができるよう、立体的なイメージと動きを意識し、人体の合理性を理解することを目指します。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系を構成する器官・組織・細胞について説明できる。	教科書	テキストP239-246通読	
		各コマにおける授業予定	神経系総論Ⅰ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の興奮を生み出す機構について説明できる。	教科書	テキストP239-246通読	
		各コマにおける授業予定	神経系総論Ⅱ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の形態について説明できる。	教科書	テキストP266-272通読	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(大脳Ⅰ)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の皮質の分布および機能について説明できる。	教科書	テキストP266-272通読	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(大脳Ⅱ)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳基底核の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP272-275通読	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(大脳基底核)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳幹・小脳の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP254-264通読
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(脳幹・小脳)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳辺縁系の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP269通読
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(大脳辺縁系)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	間脳・脊髄の構造・機能について説明できる。	教科書	テキストP250-254, P264-266通読
		各コマにおける授業予定	中枢神経系(間脳・脊髄)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経の走行・構造について説明できる。	教科書	テキストP305-316通読
		各コマにおける授業予定	脳神経 I		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経の分類・機能について説明できる。	教科書	テキストP305-316通読
		各コマにおける授業予定	脳神経 II		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経の走行・構造について説明できる。	教科書	テキストP284-305通読
		各コマにおける授業予定	脊髄神経 I		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経の分類・機能について説明できる。	教科書	テキストP284-305通読
		各コマにおける授業予定	脊髄神経 II		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経の分類・機能について説明できる。	教科書	テキストP316-319通読
		各コマにおける授業予定	自律神経		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	体性感覚神経路の分類・機能について説明できる。	教科書	テキストP275-278通読
		各コマにおける授業予定	体性感覚		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業全体を通じた内容を連関させるとともに、対応する国試範囲の出題傾向について把握する。	教科書	配布する国試対策問題集について、出題箇所について配布資料・教科書を振り返り、同種の問題に対応できるようにする
		各コマにおける授業予定	総復習・国家試験演習		